

2020年12月9日

建築研究開発コンソーシアム  
正会員・準会員連絡担当者 各位

建築研究開発コンソーシアム（CBRD）  
インキュベーション委員会  
研究企画ミーティング小委員会

## 2020年度研究企画ミーティング - 水害対策分野（第2回） - 開催のお知らせ

謹啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、建築研究開発コンソーシアムの運営並びに事業に関し、ひとかたならぬご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「2020年度研究企画ミーティング-水害対策分野（第2回）」を下記の通り開催いたします。会員各社連絡担当者の皆様から、当該分野に関心をお持ちの関係者へ、ご案内のほど宜しくお願い申し上げます

謹白

### 記

- 【開催主旨】 別紙1の通り。
- 【日時】 2021年1月15日（金） 14:30-17:00
- 【開催方法】 Web会議（Zoomミーティング）  
※BHCJ 講演室（晴海トリトンスクエアオフィスタワーZ棟4階）での参加も可能です。
- 【参加資格】 正会員、準会員で、建築物等の水害対策に関心のある実務者や研究開発担当者。
- 【定員】 Web会議参加者については、制限を設けません。  
BHCJ 講演室への出席希望者が多数の場合、先着順に各社1名までとします。
- 【参加費】 無料
- 【申込み】 2021年1月6日（水）までに、電子メールにてCBRD事務局・研究企画ミーティング担当宛（[lecture@conso.jp](mailto:lecture@conso.jp)）に、以下の内容を記載し申し込み下さい。  
件名：研究企画ミーティング 水害対策分野（第2回）  
本文：社名、部署名、氏名、TEL、E-Mail、講演室での参加希望の有無をお書き下さい。  
今回、初めてお申込みの方は、「資料1」のアンケートにご記入の上、ファイルを添付下さい。  
なお、検討の場の活性化のために、第3回以降の話題提供へのご協力をお願いいたします。
- ※申込みいただいた方には、1月8日までに、参加の可否・ZoomのURL（講演室での参加の場合は【参加票】）をメールにてご連絡いたします。  
万一、届かなかった場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。
- 【問合せ先】 研究企画ミーティングに関するご質問等は下記にお願い申し上げます。  
建築研究開発コンソーシアム事務局（略称：CONSO事務局） 担当：星野、石川  
〒104-6204 東京都中央区晴海1-8-12 晴海トリトンスクエア オフィスタワーZ棟4階  
TEL：03-6219-7127・FAX：03-5560-8022、 E-mail：hoshino.m@conso.jp

以上

## 【研究企画ミーティング・内容およびアジェンダ（予定）】

	内 容	時 間
1	<p>【第2回ミーティング開催にあたって】 第2回ミーティングの主旨説明など 木内望氏〔(国研) 建築研究所 住宅・都市研究グループ 主席研究監〕</p>	14:30 ～14:35
2	<p>【話題提供1：水害リスクと浸水想定：建築物の水害対策にどう生かすか？】 建築物の水害対策の具体的検討には、建物立地場所ごとの洪水ハザード(浸水想定)情報を踏まえることが有効と考えられる。洪水ハザード情報は、地域の地形・河川特性、想定降雨強度等に基づく洪水氾濫シミュレーション、過去の実浸水状況等に基づき作成・公表されてきたが、この代表例の1つである洪水浸水想定区域図を建築物の水害対策に生かすうえでの課題と課題解決に向けた研究開発について紹介する。 板垣修氏〔国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部水害研究室 室長〕</p>	14:35 ～15:20
3	<p>【話題提供2：建築分野における津波浸水シミュレーションの活用と洪水対策への応用の可能性】 2011年東北津波では建築構造物に対しても多大な被害を及ぼした。そのため、それ以降、建築分野でも津波対策は重要な課題となっており、津波シミュレーションを開発・活用している。面的に広域な浸水や、3次元的な建物内部への浸水などへのシミュレーションについて紹介し、洪水対策のためにはどういったシミュレーションができるかと有用であるかといったことについて、応用可能性について検討したい。 井上修作氏〔(株)竹中工務店 技術研究所地震工学部門 主任研究員〕</p>	15:20 ～15:50
	休憩	15:50 ～16:00
4	<p>【話題提供3：浸水防止設備の止水性能の評価・試験方法とその規格化について】 建物や地下空間への浸水被害を軽減させる浸水防止用設備について、2016年に建材試験センター団体規格として試験規格が制定され、その後、2019年にはJIS A 4716「浸水防止用設備建具型鋼製部材」が制定された。これまで、建材試験センターでは様々な浸水防止用設備の試験を実施しており、実例を交えて試験方法および評価方法を紹介する。 松本知大氏〔(一財)建材試験センター 中央試験所環境グループ 統括リーダー代理〕</p>	16:00 ～16:30
5	研究会立ち上げに対する総合意見交換と今後の進め方 (第3回予定。研究会立ち上げに向けたスケジュール等)	16:30 ～17:00

以上